

「介護予防・日常生活総合支援事業のガイドライン」において例示する研修カリキュラムと入門的研修の内容との対照関係

「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドライン」において例示するカリキュラム	入門的研修 ※ 下線部が対応部分		
	科目	時間	具体的な内容
高齢者の特徴と対応 (高齢者や家族の心理)	基本的な介護の方法	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護職の役割や介護の専門性 ○ 生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助に係る介護や支援の基本的な方法） ○ <u>老化の理解（老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響など）</u>
認知症の理解（認知症サポーター研修等）	認知症の理解	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>認知症を取り巻く状況（認知症高齢者の今後の動向や認知症に関する施策など）</u> ○ <u>認知症の中核症状とBPSD、それに伴う日常生活への影響や認知症の進行による変化</u> ○ <u>認知症の種類とその原因疾患、症状、生活上の障害などの基本的な知識</u> ○ <u>認知症の人及びその家族に対する支援や関わり方</u>
緊急対応（困った時の対応）	介護における安全確保	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>介護の現場における典型的な事故や感染など、リスクに対する予防や安全対策、起こってしまった場合の対応等に係る知識</u> ○ <u>介護職自身の健康管理、腰痛予防、手洗い・うがい、感染症対策等に係る知識</u>